

能登半島地震災害ボランティア実施について（報告）

日程：2024年5月29日、30日、31日

場所：よしが浦温泉 ランプの宿

〒927-1451 石川県珠洲市三崎町寺家10-11-2

ボランティア者：羽田、二村

まだ、仮設住宅にすべての方が移っていない状況やボランティア登録も必要であったため。ご縁をいただいた「ランプの宿」さんの施設で地震の被害があった家屋の片づけならびに被災者の方へレイキ「初級講習」を無料で提供してきました。

みなさまからご支援をいただいた募金を
災害義援金として直接珠洲市商工会議所会頭の
刀祢氏へお渡しいたしました。

（学会の支援を含めて 150,000円）

今回ボランティアとして出向いた施設は
地震の隆起により津波の被害がなく、岩盤も
強固であったため、建物の倒壊は免れました。
しかしながら、下水や浄水関係の復旧に数億円は
かかるとのことで、復旧のめどはたっていません。



右側の写真で海岸沿いの岩の下の部分が白いところが
今回の地震で隆起した部分です。



金沢から約4時間弱のバス移動があり、名古屋からの移動は6時間以上もかかりました。そのため、ほぼ1日だけのボランティアとなり、災害のお手伝いはわずかとなってしまいました。

しかしながら、被災された方の中でレイキを学びたいと言われた5名の方に「初級講習」を無料で実施しました。

ご本人ならびにご家族へ「手当て」を行っていただけるように指導を行ってきました。

学ばれたみなさんは、全員がこれからも「レイキ」を学び続けたいという大変うれしい言葉もいただきました。

被災されたみなさんの少しでもお役に立てたなら幸いです。

今後とも継続して支援を続けていきたいと思っています。

仮設住宅や宿泊施設も復興しましたら、レイキ技能士ならびに学会の会員のみなさんと共にふたたび訪れたいと思っています。

